



@Panel セミナー

1. 機能追加
2. 機能修正・改善
3. 追加及び改善 予定項目
4. インストールについて
5. Bricscad V16 のご案内
6. @Panel のパル抽出機能
7. PDF プリンターについて

2016 / 07 / 26 (火) 東京

2016 / 07 / 4 (月) 大阪

@ P A N E L V r 8 の機能追加・機能修正改善

主な機能追加

- 1) 64bit版の対応
- 2) 初心者モードの追加 (Vr. 7.1.9~)
- 3) @Panelコマンドメニューの変更
- 4) P4CAD的な交点選択モード
- 5) 図形選択方法の変更
- 6) 作図スイッチの機能
- 7) 共通データ タテカベ項目の追加・改善
- 8) 開口作図機能の強化
- 9) 注文書の処理 全体・一括処理に上階設定の機能追加
- 10) デザインパネルの作図対応
- 11) ヘーベルの特配対応
- 12) 注文書処理時の端部形状の図形表示 (Vr. 7.1.9~)
- 13) シボレックス風荷重のアルファベット入力に対応 (Vr. 7.1.9~)
- 14) アスロック アンカー機能の追加 (両側100のみ) (Vr. 7.2.1~)

機能修正・改善項目

- 自動保存機能 保存のタイミングの追加
- 寸法線定義の整理
- 割付時 割付寸法線の自動作図機能の改善
- ダイアログボックス内の[ENTER]の動作改善
- 構造リスト、開口リストの改善
- 立面図呼出時の動作改善
- 面符号のコマンド追加 (Vr. 7.1.9~のコマンドです)
- 補助線 (壁芯) のコマンドの動作改善
- 外形コマンドの追加改善機能 (立面)
- パネル結合の処理改善 (立面)
- 単独パネル>設定の動作改善
- 各種コマンド追加 (引出文字・文字など、Vr. 7.1.9~のコマンドも含まれます)
- 注文書の動作改善
- その他の追加、改善項目

〔主な新機能〕

1. @Panel Ver 8シリーズは、64bit版に対応しました。

64bit版は、BricsCAD V16 (pro) の64bit版で動作します。

64bit版の処理速度は、32bit版の1.2倍程度早くなるテスト結果が出ました。

機能面につきましては、32bit版、64bit版、同じ内容になります。

32bit版は、@Panel Ver 7シリーズでご使用頂いている、Bricscad V13 (pro) で動作します。アップグレードしなくてもVer 8シリーズをご使用頂けます。

〔@Panel Ver 8シリーズ 32bit版の動作環境〕

OS	WINDOWS 7 or 8.1 or 10 (32bit版 or 64bit版)
動作に必要なソフトウェア	Bricscad V13 (pro) 32bit版 office 2007以降の32bit版

〔@Panel Ver 8シリーズ 64bit版の動作環境について〕

OS	WINDOWS 7 or 8.1 or 10 (64bit版)
動作に必要なソフトウェア	Bricscad V16 (pro) 64bit版 Office 64bit版 ※2013、2016のOfficeで動作確認済

2. 初心者モードの追加 (Vr. 7.1.9~)

- ・初心者モードのメリット、デメリット

メリット 通常画層がロックしている為、誤操作で図形を移動したり、削除したりすることが防げ、データが壊れたりする事が生じにくいです。

デメリット 通常画層の図形を編集する時、Bricscad の操作で、レイヤのロックを外す作業が増える為、時間ロスが生じます。

モードの切替



Pixel ロゴをダブルクリックで、初心者モード、上級モードの切り替えです。
Pro が表示されていれば上級モードです。

@Panel の各平面、立面は、通常／USER／BG の3つのレイヤで構成されていますが、初心者モードの操作で切替できるレイヤは、USER／BG の2つのレイヤのみになります。

面を開いた時のレイヤ初期設定

初心者モード

1階平面図	●	●	●	●
1階平面図-BG	●	●	●	●
1階平面図-USER	●	●	●	●

レイヤ切替は、USER／BG。

上級モード (従来の動作環境)

1階平面図	●	●	●	●
1階平面図-BG	●	●	●	●
1階平面図-USER	●	●	●	●

レイヤ切替は、通常／USER／BG

3. @Panelコマンドメニューの変更

下記画面は、平面図入力メニューです。

コマンドの選択手順について

- ①上のタブから、平面入力/構造入力/屋根・床のどれかを選択。
- ②左のタブから詳細タブの選択。
- ③使いたいコマンドをピックアップします。

交点選択モード (詳細は次ページ記載)

ピックアップするごとに、@Panel → Brics → @Panel の切替になります。

【Brics】

通常の Bricscad の操作と同じです。端点、交点などの座標とる時は、図形 SNAP を使って下さい。

【@Panel】

一部のコマンド操作時 (壁・柱の作図など) 交点選択モードになります。この交点選択モードの時は、@Panel のプログラムで座標を拾います。拾う事ができる座標は、@Panel で作図した補助線・壁芯・通芯の交点のみです。ピックアップした点の最寄りの交点を拾います。交点選択モードでは、図形スナップの機能を使用していないので、図形スナップの表示は出ないです。この交点選択モードの時は、フリーの座標がない為、画面を拡大したりする必要が少なく、交点の取り間違いなどのミス防止ができます。

補助線、壁芯、自由寸法は、よく使うコマンドの為、複数の面で実行できる様にしています。どの面で実行しても同じです。

注) メニューの中に、【属性削除】がありますが、このコマンドは、拡張データを削除するコマンドになります。(Atpclearxdata)
@Panel で作図した図形の拡張データを削除するとデータが壊れますのでご注意ください。

レイヤ切替

ピックアップするごとに、通常→USER→BG→通常に切り替わります。

(初心者モードの場合は、USER→BG→USER)

【通常】

1階平面図	●	●	●	●
1階平面図-BG	●	●	●	●
1階平面図-USER	●	●	●	●

【USER】

1階平面図	●	●	●	●
1階平面図-BG	●	●	●	●
1階平面図-USER	●	●	●	●

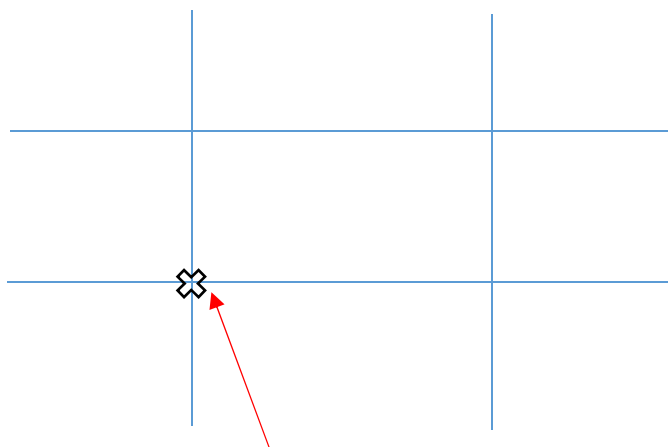
【BG】

1階平面図	●	●	●	●
1階平面図-BG	●	●	●	●
1階平面図-USER	●	●	●	●

4. 新機能の交点選択モード [@Panel or Brics の @Panel モード]

交点選択モード

【@Panel】の場合



新機能の交点選択モード(@Panelの時)で、×印の交点をとる場合、×印の近くで、**ピック**するだけです。Bricscadの図形スナップを使用していないので、マウスを図形の近くに持っていても図形スナップの交点の文字は表示しません。

拾うことができる交点は、@Panelで作図した**補助線・壁芯・通芯の交点**のみになります。(梁>設定の場合は、柱の中心の座標も拾います)

ピックした点の近くの交点を拾うので、画面の拡大縮小が少なくなります。

【Brics】の場合 ※従来の機能です。

通常のBricscadの点の取り方と同じ。端点・交点などを拾う場合は図形スナップが必要です。

5. 図形選択方法の変更

図形を選択方法

壁の選択、補助線・壁芯・通芯の選択 ピックした点の最寄りの図形選択ができるようになりました。

<例> 壁の選択の場合



割付寸法のコマンド、立面図呼出で壁選択する時など、壁の中の空間でピックしないとできなかったのを、**ピックした点の近くの壁を選択**する様に変更しました。画面の拡大をしなくても壁を選択する事が可能です。

6. 作図スイッチの機能

物件ごとに管理できるようになりました。

初期値は、メインメニュー>システム設定>作図スイッチ の値が反映されます。

新規作成後は、物件の中で作図スイッチの管理ができます。



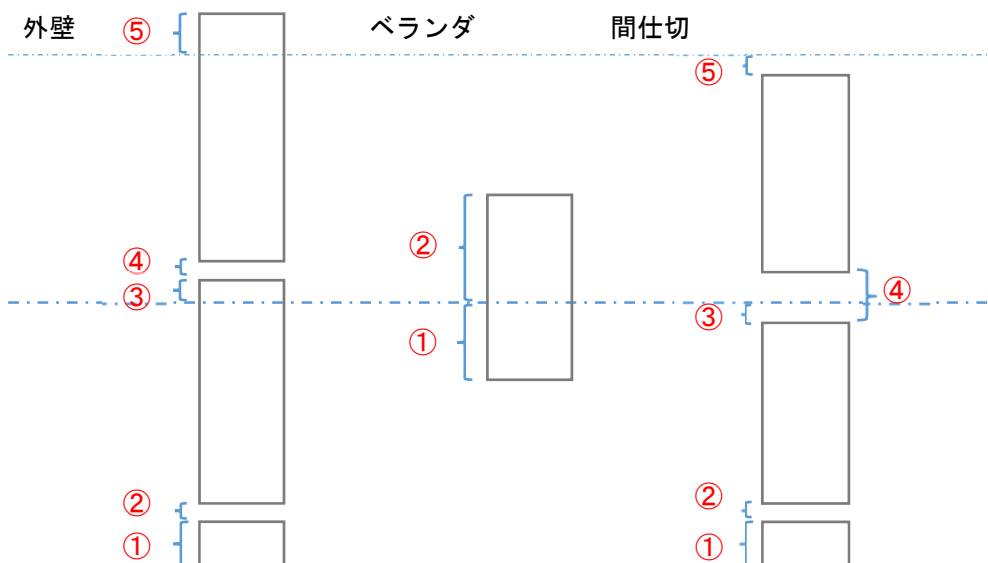
7. 共通データ タテカベ項目の追加・改善

ベランダの追加、間仕切の基礎を追加しました。

※ 1階で作成したベランダは、外壁の値になります。

階	階高 mm	外壁		ベランダ		間仕切	
		外形位置	パネル長さ	外形位置	パネル長さ	外形位置	パネル長さ
		⑤ 300		0		⑤ -20	
				0			
2	2000	④ 10	2260		1800	④ 150	1850
		③ 30		② 1200		③ -20	
				① -600			
1	2000	② 20	1710		0	② 20	1760
		① 300				① 200	

矢印は、
ENTER キーの
カーソルの
動きです。



8. 開口の作図機能の強化

平面図

開口寸法に、面全体の機能を追加しました。

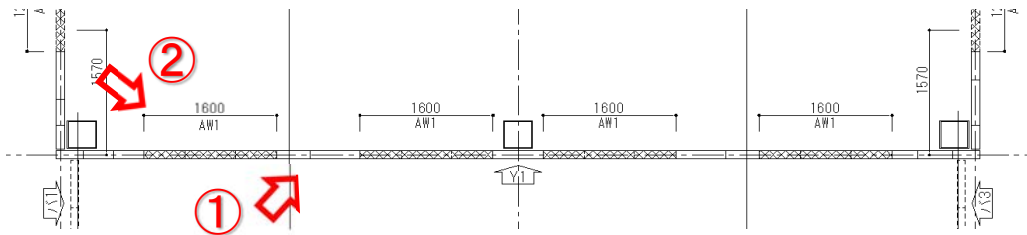
開口寸法の作図・移動の時、壁単位で作図・移動が可能です。

下図の様な場合では、

①壁をピック

②寸法線の配置場所をピック

2回の左クリックで、4つの開口寸法が作図できます。(移動の場合も同様)



立面図

開口の作図機能の強化（開口の移動の操作改善・開口目地合わせの機能追加）

I. 開口＞移動

新機能の交点選択モードの場合（@Panel or Brics モードの @Panel の時）

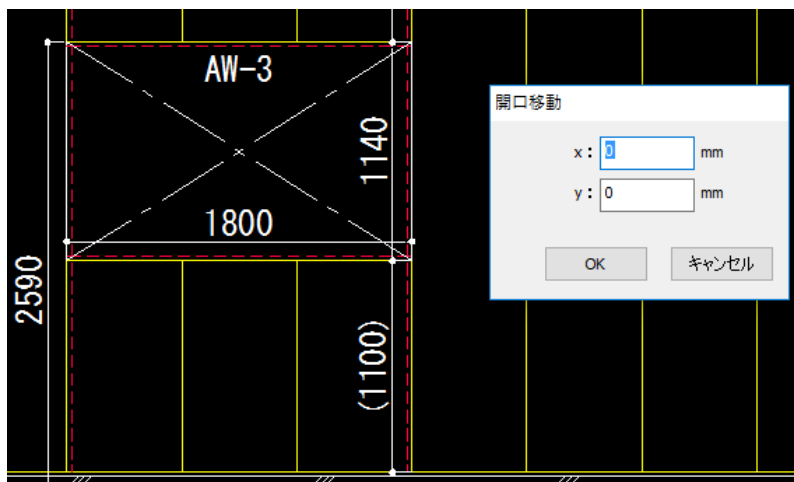
ダイアログボックス内の数値入力で移動が可能です。

※図形スナップの端点の取違いなど、誤操作を防止できます。

①開口選択後、

②ダイアログボックスが表示されます。

（従来の Brics モードは、開口選択後に、1. 基点 2. 基点先 の2回の操作が必要）



※右上方向：正の整数 左下方向：負の整数

立面図

Ⅱ. 開口>開口目地合わせ

①開口の選択

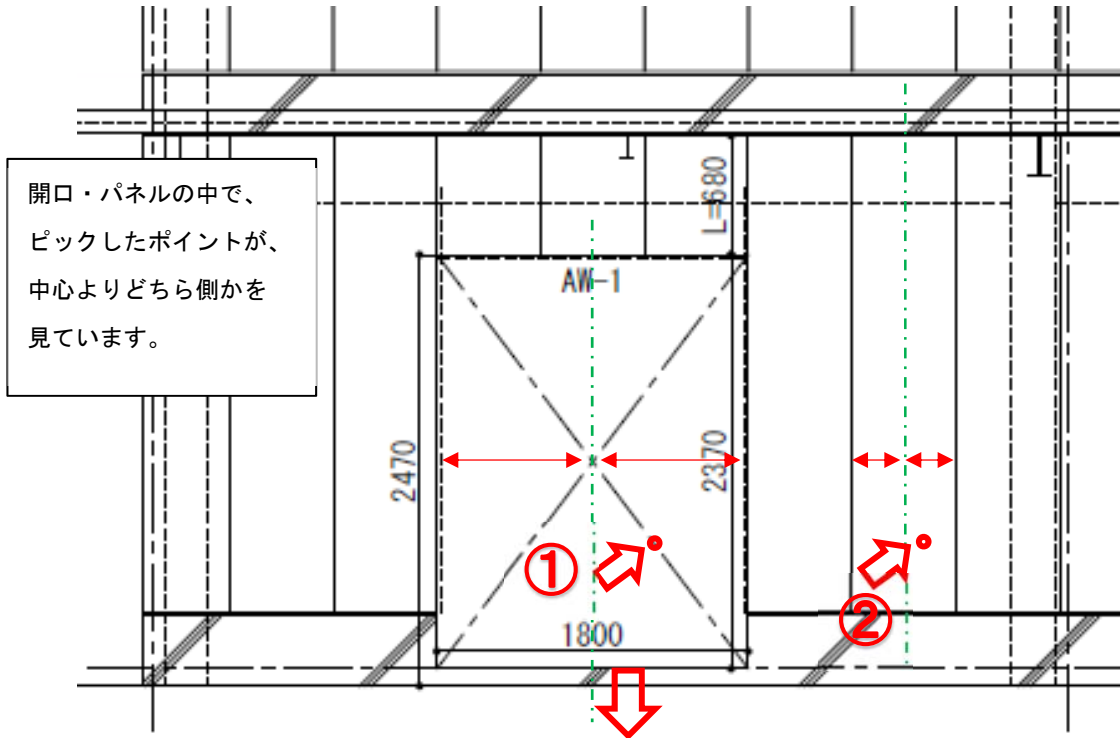
選択方法は、開口の中でピックします。

※開口の右、左の基準は、ピックしたポイントが開口の中心より、右 or 左で判定します。

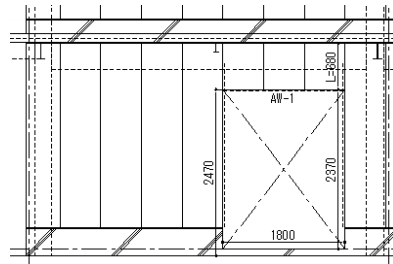
②パネルを選択

選択方法は、パネルの中でピックします。

※目地の基準は、ピックしたポイントの最寄りの目地になります。

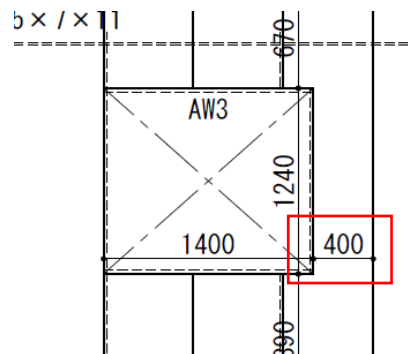


上記の操作の場合、
右図の様に
開口が移動します。



Ⅲ. 立面>開口切欠き寸法の作図機能追加

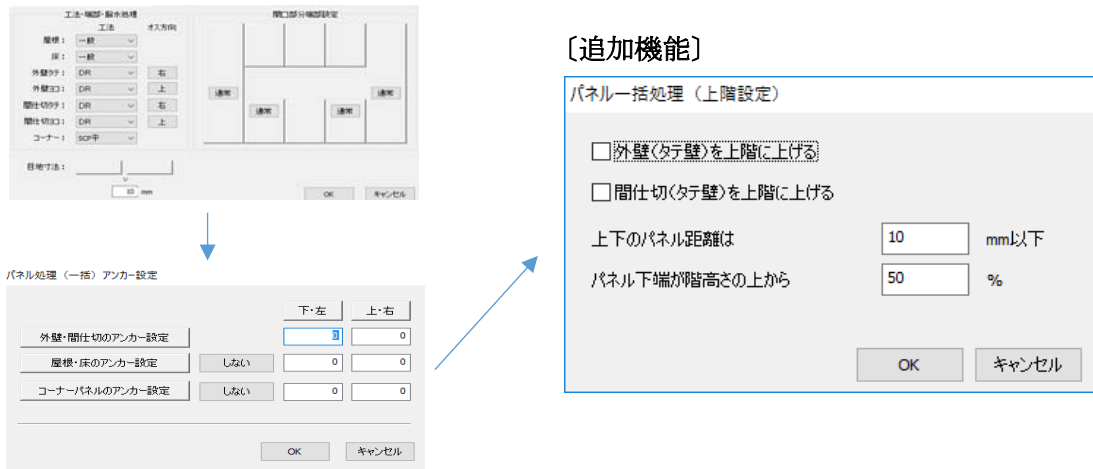
開口がパネルを切り欠く場合、
寸法線を作図。



9. パネル処理 上階設定の機能追加

パネル処理>「全体」、「各面ごとの一括処理」の時、上階設定の機能を追加しました。

※流れ

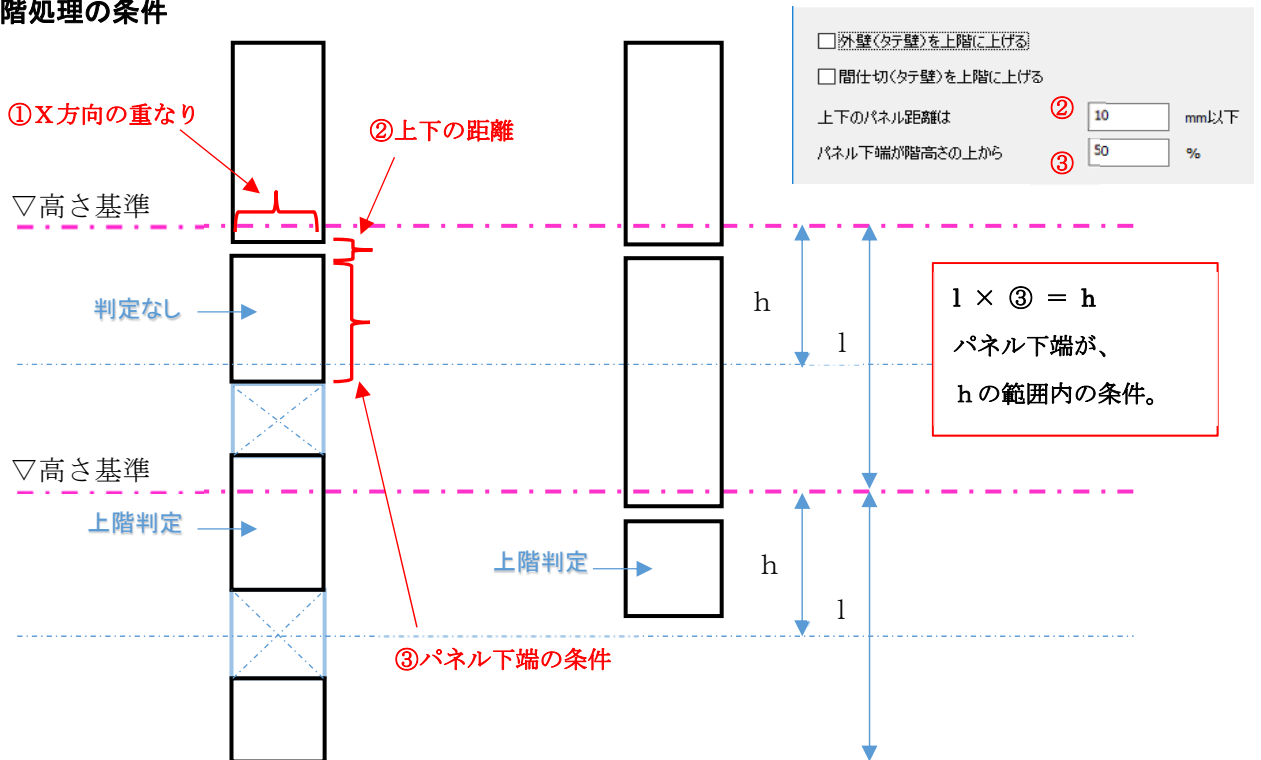


機能について

開口のまぐさのパネル・垂れ壁のパネルを、**上の階に、階変更**。

また、階変更時に荷重も**上の階の荷重に変更**します。

上階処理の条件



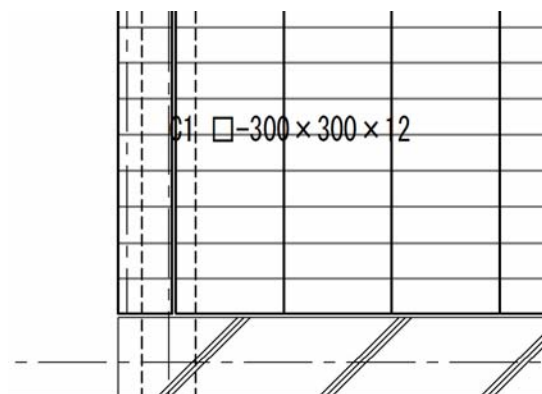
- ① X方向の重なり条件。重なりない場合は、判定なし。
 - ② 上下の距離条件。②の値より、図形が離れていたら判定なし。
 - ③ パネル下端が、 h 内の範囲を超えた場合は、判定なし。
- ①～③の3つ条件をすべて満たした時、上階変更かつ荷重変更の処理が入ります。

10. デザインパネルの作図対応

[ALC]

パネル処理 > 「デザインの種類」の選択で、デザインの柄が表示されます。

例)



デザインの種類の図形は、メインメニュー>線属性設定で、色の変更が可能です。

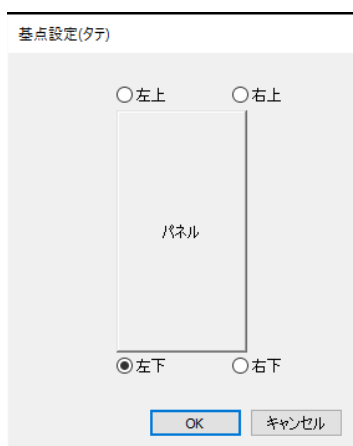
作図上は、表示スイッチで、表示のON、OFFの制御、

印刷時は、印刷スイッチで、印刷する、しないの選択が可能です。

デザインの機能に合わせて、

①基点変更、②デザイン詳細、③デザイン合わせの機能を追加しました。

① 「基点変更」 ※タテ壁 ヘーベル・シポレックス専用



基点変更することで、
デザインの柄の基点が変更します。

・ヘーベルの場合

下 ⇄ 上 に基点を変更時、オス方向が逆転します。

オス方向に合わせて、アンカーの値も反転しますので、ご注意ください。

・シポレックスの場合

左下 ⇄ 右下 (左右の基点変更) 基点を右下に変更時、注文書の指示の項目に [R] が入ります。

注) クリオンでの基点変更、シポレックスでの 下 ⇄ 上 の基点変更は使用しないで下さい。

② 「デザイン詳細」 (クリオン、シポレックス)

・クリオン

デザインのボーダー寸法、ヨコピッチ寸法の値を入力。

・シポレックス

スタート指定、クロスカット指定、水切りカット指定、役物山指定のどれかを選択し、M側、N側の値を入力。

③ 「デザイン合わせ」

デザインの種類のピッチラインを合わせます。

デザイン合わせで柄を変更後は、**デザイン詳細で発注の値**をご確認下さい。



① ピッチを変更したい
パネルを選択。

② 合わしたいパネルを選択。

選択方法

「ヘーベル」

パネルの中でピック

「クリオン・シポレックス」

パネルの目地上の端点をピック



「ヘーベル」

必要によって

パネルの幅・長さの値を変更。

「クリオン・シポレックス」

デザイン合わせ後は、

デザイン詳細の値のご確認をして
下さい。

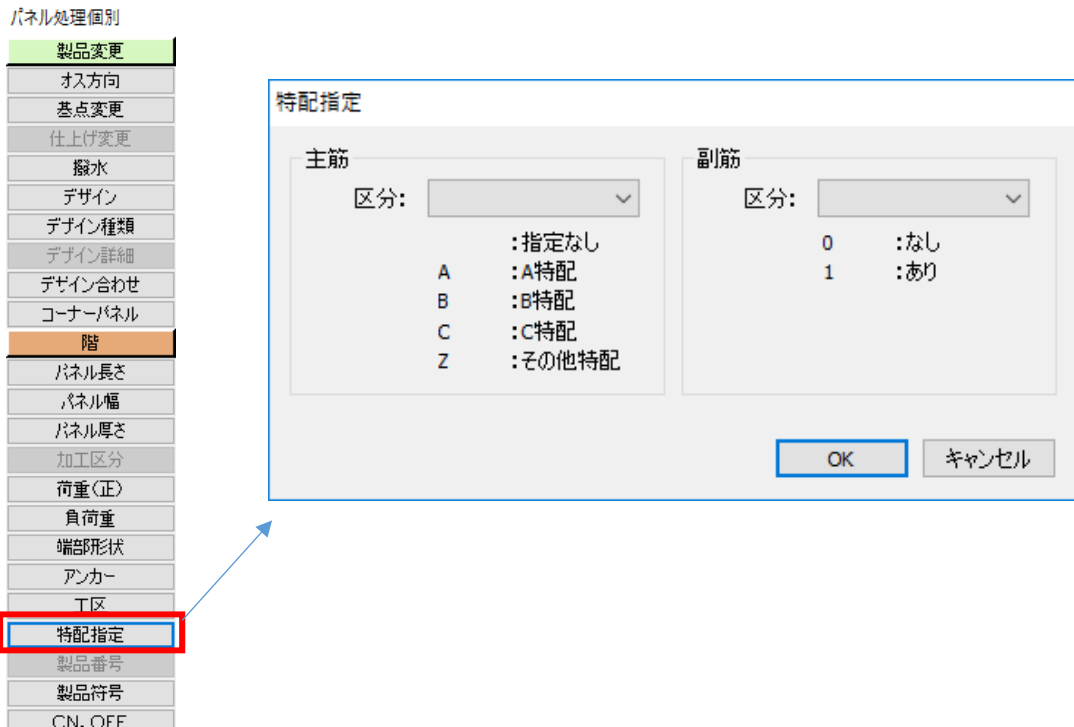
[押出パネル]

デザイン柄がある製品番号に引き当て後、表示スイッチでチェック入れると、
デザイン柄が表示されます。

11. ヘーベル 特配パネルの対応

ヘーベル>パネル処理のコマンドに特配指定が追加になりました。

特配指定したいパネルを選択して、「主筋」・「副筋」の値を設定できます。



「主筋」・「副筋」の値は、ヘーベルのオンラインファイルにも対応しています。
 特配対応のオンラインファイル、ファイルフォーマットに若干変更があります。
 ファイルの必須項目が増えましたので、注文書画面に追加項目があります。



※追加箇所について

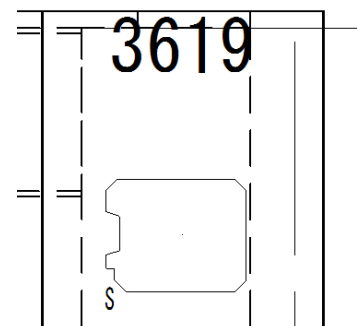
取付工法 : 縦張り構法 or 横張り構法 or その他 から選択
 当該物件において、割合の多い構法を設定

建物構造 : S構造 or RC構造 or SRC構造 or その他 から選択

建物構造名 : 「建物構造でその他」を選択時、全角7桁以内で設定要

12. 注文書処理時の端部形状の図形表示 (Vr. 7. 1. 9~)

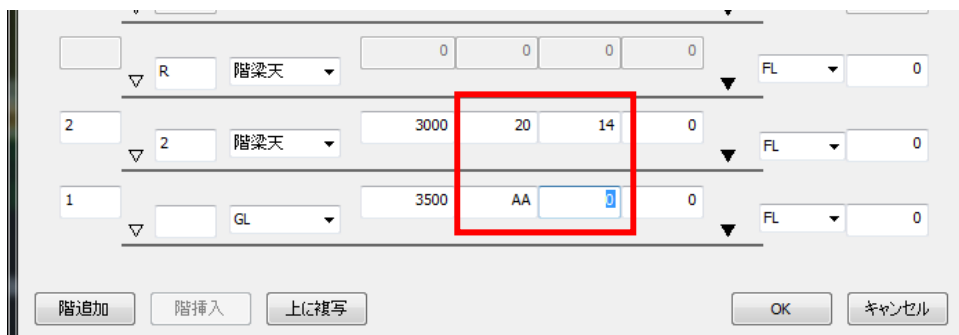
今回のバージョンで、基点変更を追加しました。(前項 10)
ヘーベル基点変更で、オス方向 左でアンカー位置が反転します。
オス方向 左の時でも端部形状が引きあたる様に追加ファイルを作成しました。端部形状の図形表示も反転図形になります。



※発注データの値は、端部形状の図形ではなく、パネル上部の
端部形状コードです。また端部形状が引きあたらなくても、
ヘーベル オス方向「左」の場合、アンカーの値が注文書で反転します。

13. シポレックス風荷重のアルファベット入力に対応 (Vr. 7. 1. 9~)

風荷重の入力欄に、数字以外を入力できる様に対応しました。
(ヘーベル・クリオンは、数字(半角)で入力して下さい。)



14. アスロック アンカー位置の追加 (両側100のみ) (Vr. 7. 2. 1~)

アスロックの注文書で、アンカーを入力できるようになりました。

但し、**メーカー側の対応が100のみ**ですので、
100以外の値は入力しないで下さい。



機能修正・改善項目

■ 自動保存機能 保存のタイミングの追加

システム設定>環境設定 の自動保存の設定で、**各面ごとの保存のタイミングを追加**しました。
面ごとの自動保存設定時は、階選択、立面選択のタイミングで上書き保存の処理が入ります。

■ 寸法線定義の整理

平面・立面で寸法線定義の反映される行は、違いますが、一部平面の寸法に、立面図の行を見ている項目がありましたので、整理しました。

また、開口寸法の寸法文字サイズと、開口文字（建具記号）の文字サイズを分けたので、別々の文字サイズにすることが可能です。

■ 割付時に、割付寸法線の自動作図機能の改善

AtPanel.ini のファイルの中で、割付時に割付寸法を自動作図する機能があります。

従来の動作

- ・ 機能 off か機能 on のどちらかで、on の時、平面図・立面図（全ての階）ともに作図

新機能の動作

- ・ 機能 on の時の**パターン追加**、また**立面図の作図時は最下階のみの作図**に変更

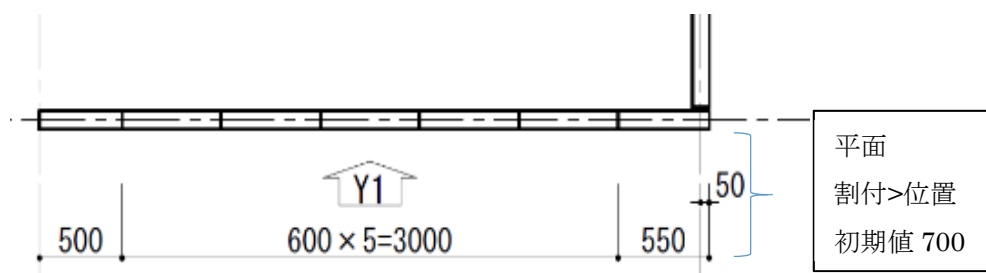
AtPanel.ini のファイルの中で、

[パネル寸法線]

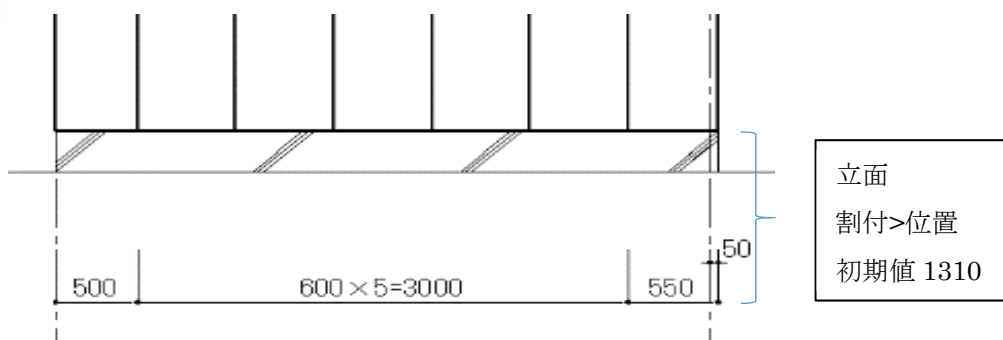
割付作図=3 （数値を 0~3 で選択） ※初期値は 3 です。

- ・ 0 : 作図無し（機能 off）
- ・ 1 : 平面図のみ作図 ※追加
- ・ 2 : 立面図のみ作図 ※追加
- ・ 3 : 平面立面両方作図

平面



立面

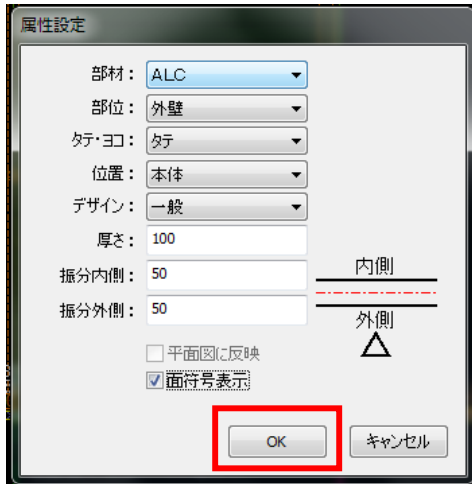


■ ダイアログボックス内の ENTER キーの動作改善

ダイアログボックス内の [ENTER] の動作

カーソルの位置が **【OK】** の時、**ENTER** で決定できるようになりました。

〈例〉壁の設定の画面



従来は、[ENTER]入力ごとに、部材→部位→タテ・ヨコ・・・→キャンセル→部材と入力するごとに繰り返しカーソル位置が移動していましたが、OKの位置でENTERの場合は、移動ではなく決定の動作に変更しました。

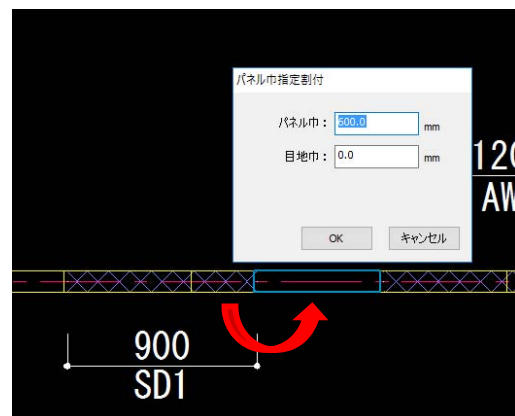
カーソル位置 **【OK】** の時の動作：「移動」→「決定」に変更。

・ 割付＞部分 の場合

ENTER キーで、「OK」位置で、決定し、自動的に次のパネルを変更に移ります。

今までは、マウスとテンキーを使いながらの操作になりましたが、

テンキーのみで続けて割付を変更することができます。



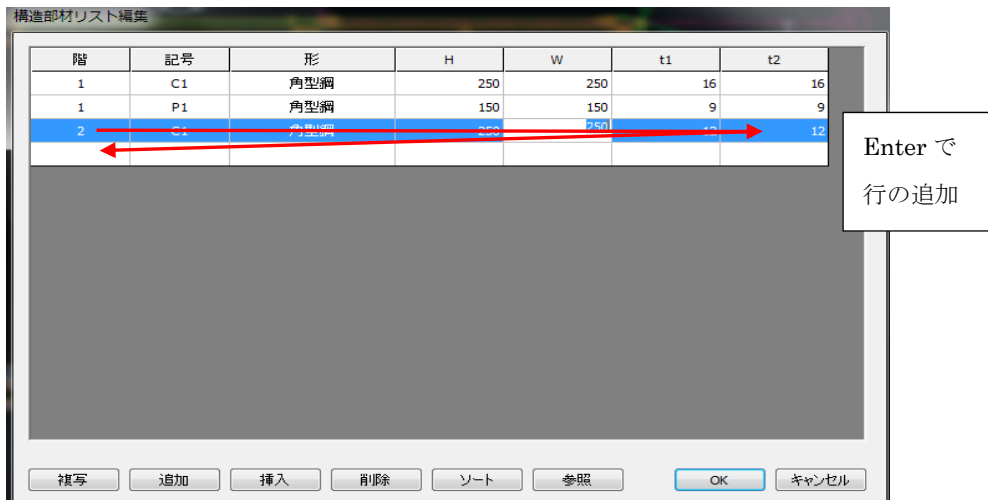
■ 構造リスト・開口リストの改善

構造リスト、開口リストの処理改善

行追加をしなくても空白部分を直接入力する事で、行追加できるようになりました。

今まで、ENTERでセルの移動した時、そのまま数字を入力するとすでにある数字の続きに数字が追加していましたが、セルの移動した時、上書きで数値入力できるようになりました。

開口リストに、「複写」、「OK」の機能を追加しました。



※不具合現象で、リスト表示した時、構造リストの一番上の行のセルが空白になる現象がありました。今回の表スタイルの変更に伴い改善されました。

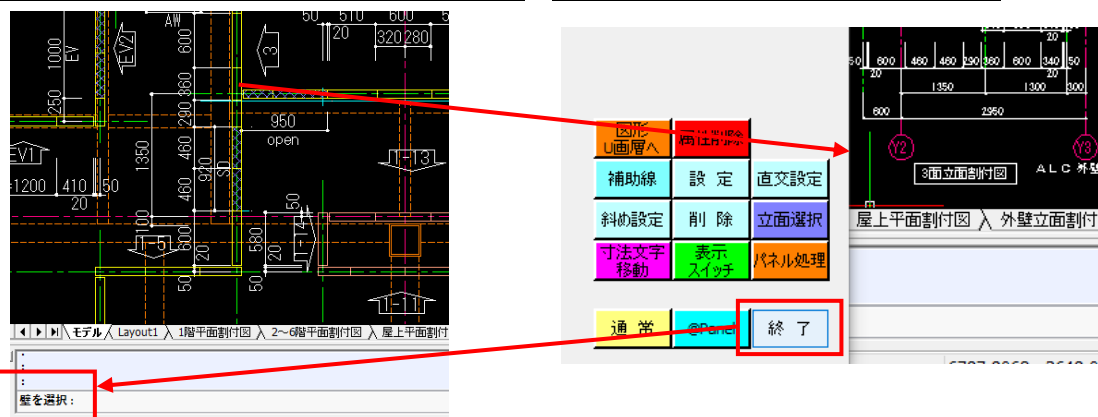
■ 立面図呼出時の動作改善

従来の動作

立面図呼出 → 壁を選択 → 立面図表示 → 終了 → 平面図表示 の流れで、平面図に戻った時は、平面図全体表示の状態、コマンドは何も入っていない状態。

新バージョンの動作

立面図呼出 → 壁を選択 → 立面図 → 終了 → 平面図 の流れで、平面図に戻った時、立面図入る直前の画面表示、立面図呼出のコマンドが入った状態。



立面図から戻ると、画面表示は、**立面図入る直前の状態**で、

立面図呼出のコマンドが実行された状態です。

続けて壁を選択して、立面図を呼出できます。

■ 面符号のコマンド追加 (Vr. 7.1.9~)

面符号>表示・移動・複写・削除 の機能について

[表示]

横壁などで、面符号が多い時、壁を複数選択して、まとめて面符号の表示をオフにすることができます。

[移動]

面符号を移動します。

[複写]

長いスパンの壁の場合（キープランを作ってレイアウトする様な物件）、面符号が壁単位の為、一つで足りない場合、複写してレイアウトに使うことができます。

[削除]

複写した面符号を削除するための機能です。元の面符号の表示が不要な場合は、[表示]の操作で。

■ 補助線（壁芯）のコマンドの動作改善

[補助線（壁芯）>設定] ※赤文字が従来機能からの変更箇所です。

通芯・壁芯・補助線に平行な補助線を設定します。

- ①平行の元になる基準線をピックします。※**ピックした最寄りの基準線。**
- ②補助線の範囲をピックします。
- ③距離を入力します。
 - ・ENTER で、同間隔の連続作図。**数値入力後、ENTER で入力の距離で作図。**
 - ・**右クリックまたはESC キー**で、コマンドキャンセル。左クリックで別の基準線を選択。

[補助線（壁芯）>直交設定]

通芯・壁芯・補助線に直交する補助線を設定します。

- ①直交の元になる基準線をピックします。※**ピックした最寄りの基準線。**
- ②補助線の範囲をピックします。
- ③距離を入力します。
 - ・ENTER で、連続で同間隔作図。**数値入力後、ENTER で入力の距離で作図。**
 - ・**右クリックまたはESC キー**で、コマンドキャンセル。左クリックで別の基準線を選択。

[補助線（壁芯）>斜め設定]

ピックした2点間の平行線を設定します。

- ①補助線の元になるポイントを2点ピックします。
- ②補助線の範囲をピックします。
- ③距離を入力します。
 - ・ENTER で、連続で同間隔作図。**数値入力後、ENTER で入力の距離で作図。**
 - ・**右クリックまたはESC キー**で、コマンドキャンセル。左クリックで別の基準線を選択。

■ 外形コマンドの追加・改善機能（立面）

外形>上下（全体）

①上下したい外形を選択。選択方法は、外形の中で左クリック。

②ダイアログボックス内の上側・下側の値を入力

コマンドは、連続なので続けて上下したい外形がある場合は、次の外形を選択。

終了する場合は、右クリックか、ESC キーで。

※ダイアログボックス内のデフォルトの値が変わりました。

現状の値＝新規の値。 コマンドキャンセルせず、**連続で次の外形を選んだ時は、前回の値で。**

	現状	新規
上側	30	
下側	310	310

新規の値は、現状の値で表示されます。
コマンドキャンセルせず、続けて次の外形を選択した場合は、前回の値が反映されます。

外形の点移動（個別・一括）

- ・ 出入設定している場合の幅方向の制限

出入設定している外形の頂点を幅方向の移動をした場合、割付寸法が平面と立面でずれたり不具合の原因になる為、幅方向の点移動の処理に制限を設けました。

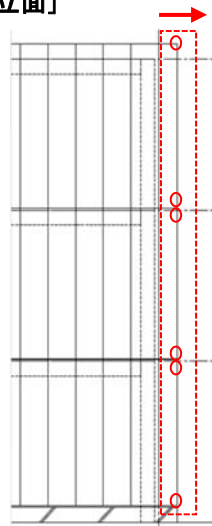
- ・ 出入設定していない場合の幅方向の移動

外形の点移動で幅方向の移動をした場合、平面の壁が伸縮されます。

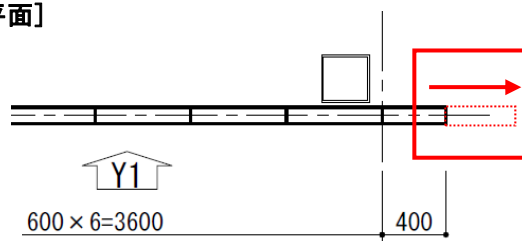
立面図で、複数の階の外形を選択して、幅方向の点移動をした場合、平面図各階の壁が同時に伸縮されます。

※基礎の外形については、選択していなくても1階の外形を幅方向で移動すると、連動して幅方向が移動します。

[立面]



[平面]



点移動一括で、
外形の頂点まとめて移動。
RCの外形は、
選択してなくても外形に合
わせ点移動します。

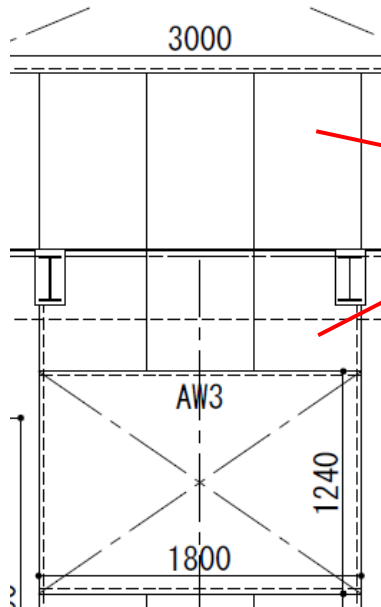
各平面図の壁が、伸縮します。

外形>点移動(個別・一括)のコマンドには、新機能の交点選択モードの「@Panel」or「Brics」の切替があります。@Panelのモードの時は、点を選択後、オフセットのダイアログボックスが表示され、ダイアログボックス内のx、yの値を入力して移動量を決定します。

■ パネル結合 処理の改善（立面）

割付＞パネル結合（長さ・巾）

パネル結合時、パネルに切欠きがあるとパネル結合ができませんでしたが、切欠きがあった場合でもパネル結合ができるようになりました。



新バージョンでは、この場合でもパネル結合が可能です。

従来の機能では、切欠き開口がある場合は、パネル結合ができませんでした。

※但し、パネル同士の軸が一致しない場合は、従来通りパネル結合はできません。

■ 単独パネルの設定の機能改善

設定 単独パネルを設定します。

- ①単独パネルの外形を設定します。（1点目を指示、2点目を指示・・・）
- ②パネルの属性を設定します。

ダイアログボックス内のデフォルト値が変わりました。

〔従来〕

単独パネル

部材: ALC

部位: 外壁

タテ・ヨコ: タテ

デザイン: 一般

厚さ: 0 mm

コーナーパネル
 平パネル

コーナータイプ: L

面取り: 0 mm

幅1: 0 mm

幅2: 0 mm

長さ: 0 mm

階: 1

OK キャンセル

〔新〕

単独パネル

部材: ALC

部位: 外壁

タテ・ヨコ: タテ

デザイン: 一般

耐火:

厚さ: 0 mm

コーナータイプ: L

面取り: 0 mm

幅1: 600 mm

幅2: 0 mm

長さ: 2000 mm

階: 1

OK キャンセル

タテがデフォルト。

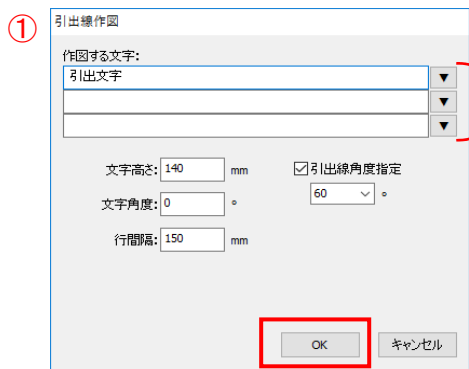
ヨコ・コーナーの場合は、変更して下さい。

単独パネル作図時の
ΣX、ΣYの値が、
デフォルト値です。

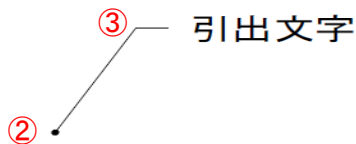
■ 引出文字 [設定] [編集] [移動] [削除] (Vr. 7.1.9～)

[設定]

- ①ダイアログボックス内の入力
- ②引出線の始点を指示 画面上配置したいポイントで左クリック
- ③引出線の配置場所を指示



引出文字が複数行必要な場合に2行目、3行目を入力して下さい。
また、プルダウンリストで、マスタ登録、マスタからの入力が可能です。



[編集]

- ①編集する引出線または、引出文字を選択。
- ②ダイアログボックス内の入力

[移動]

- ①移動する引出線または、引出文字を選択。
- ②移動基点を指示、移動先を指示して移動します。

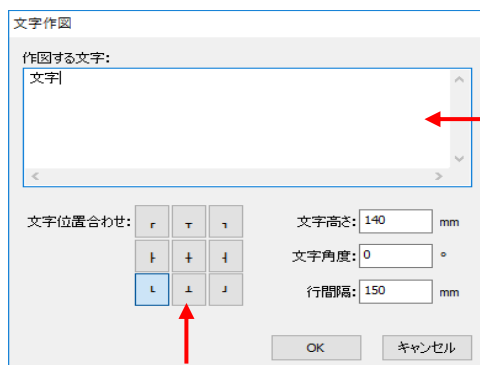
[削除]

- ①削除する引出線または、引出文字を選択。
- ②選択し、確定 (右クリックまたは ENTER) すると削除します。

■ 文字 [設定] [編集] [移動] [削除] (Vr. 7.1.9～)

[設定] ※ [編集]・[移動]・[削除]については、引出文字の操作と同様です。

- ①ダイアログボックス内の入力
- ②作図位置を、画面上でピックし、作図します。



複数行作図したい場合は、改行して下さい。

挿入する文字の基点になります。

■ 寸法文字移動 (Vr. 7.1.9~)

@Panel で作図した寸法文字を移動する事ができます。

(複数選択が可能です。Bricscad の寸法値移動は、個別移動です。)

- ①寸法線を選択
- ②移動基点をピックします。
- ③移動先をピックします。

■ 立面図>タイトル壁仕様 (タイトル名編集機能)

[編集]

- ①編集するタイトル文字を選択。
- ②タイトル名称を変更します。
※文字修正と、タイトル囲い図形も修正します。

[複写]

- ①複写するタイトル文字を選択。
- ②複写基点を指示、複写先を指示して複写します。

[移動]

- ①移動するタイトル文字を選択。
- ②移動基点を指示、移動先を指示して移動します。

[削除]

- ①削除するタイトル文字を選択。
- ②選択し、確定 (右クリックまたは ENTER) すると削除します。

■ 属性削除 (Vr. 7シリーズで作成したコマンド、拡張データの削除「Atpclearxdata」です)

拡張データを削除するコマンドです。

Bricscad V8 ベースの@Panel で使用していた分解コマンドの代用コマンドです。

Bricscad V13 or V16 ベースの@Panel では、属性削除のコマンド (Atpclearxdata) が必要で、分解コマンドは必要ありません。

@Panel の元データを、属性削除のコマンドを実行すると、図形によってはデータが壊れますので必要に応じてご使用下さい。

※コマンドラインから直接入力する場合は、コマンドラインに、「ATP」を入力すると続きが表示されコマンド入力が可能です。

■ 注文書の動作改善

注文書>作成>パネル分類 の動作改善をしました。

・ [分類条件の優先度の細分化]

優先順位が、最大4つで並び替え可能です。
※従来は、2つの条件の並び替えでした。

※ヘーベルの分類条件

荷重の条件について、「強制条件 → 任意の条件」に変更しました。

デフォルトは、チェックが入った状態です。

注) 約定の中に、荷重が違うパネルが混在するとNGの場合は、
チェックを外さないで下さい。

・ [分類した結果画面の動作改善]

部位	タテヨコ	工法	デザイン	デザイン種類	特殊	厚さ	階	面	工区	枚数	種類数	分割No.	開始記号
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	1	EX1面立面割付図		6	4	1A	101
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	1	EX2面立面割付図		10	4	1B	101
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	1	EY2面立面割付図		13	9	1C	101
部仕切	タテ	DR	一般		普通	100	1	ax面立面割付図		10	4	1D	101
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	2	EX1面立面割付図		14	7	1E	201
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	2	EX2面立面割付図		10	4	1F	201
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	2	EY1面立面割付図		26	10	1G	201
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	2	EY2面立面割付図		13	9	1H	201
部仕切	タテ	DR	一般		普通	100	2	ax面立面割付図		10	4	1I	201
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	3	EX1面立面割付図		8	6	1J	301
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	3	EX2面立面割付図		10	4	1K	301
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	3	EY2面立面割付図		13	9	1L	301
部仕切	タテ	DR	一般		普通	100	3	ax面立面割付図		10	4	1M	301
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	4	EX1面立面割付図		14	8	1N	401
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	4	EX2面立面割付図		10	4	1O	401
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	4	EY1面立面割付図		26	5	1P	401
外壁	タテ	DR	一般		普通	100	4	EY2面立面割付図		13	9	1Q	401

ENTER キーでセル移動。
セル移動時は、文字入力
上書きモードの状態。

※分割 NO. = 0 の入力、「再表示」で行を削除

※分割 NO. = 同じ NO. を複数行で作成。「再表示」で、行の結合。

シプロックスで、分割 NO. = 0 で行の削除の処理が、行の結合になっていた現象がありました
が、改善しました。

・ [明細編集の画面 「荷重」 の機能]

明細編集の画面の中にある、荷重の機能を追加しました。

①荷重のタブを左クリック

②荷重設定のダイアログボックスが表示。正荷重、負荷重を入力して「OK」すると、
明細内のすべての行の荷重が、入力した荷重に反映されます。

■ その他の追加、改善項目

・ヨコ壁の壁修復機能の強化

ヨコ壁の場合、壁を削除できないなど、エラーが起きるケースがタテ壁に比べ多いですが、作図時の処理改善、壁・外形の修復機能の強化をしました。

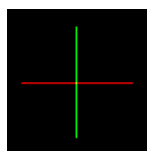
※現在、ヨコ壁自動割付をした時、割付が初期化され、立面図の割付寸法とパネル長寸法が削除されます。寸法線につきましては、ヨコ壁自動割付の後、再作図できる様に開発側に要望中です。

・立面図（面符号）作成の高速化

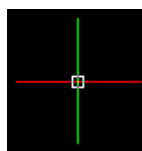
面符号の設定・単独 の処理スピードが上がりました。立面図の作成が早くなりましたので、壁の階複写・階移動をするときも早くなります。

・プログラムでの範囲選択の図形選択の動作改善

プログラム(@Panel)での範囲選択で図形選択時に、範囲選択するもう一方のコーナーを左クリックする時（対角の2点目をクリック時）に、画面上見えている図形が対象でしたが、動作改善で画面上見えていない図形も選択できるようになりました。

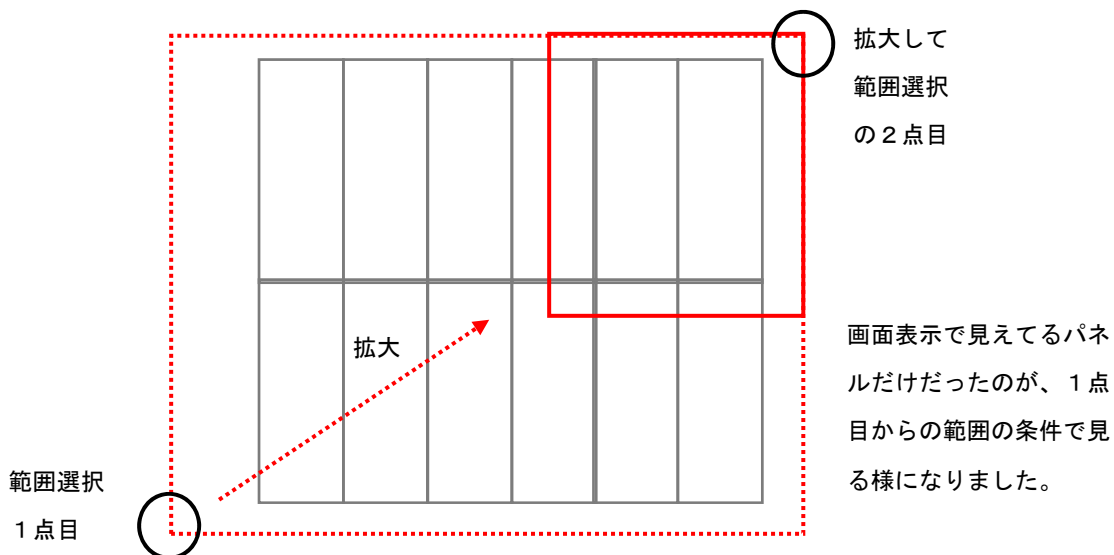


プログラム操作の範囲選択



Brics 通常の方法

構造（柱・梁）の選択時や、
パネル処理のパネル選択時など。



※対応策として、範囲選択する時の2点目クリック時に、表示のコマンドを使用して、図形が1点目からの範囲内に入った状態を作って処理しています。その為、お使いのPC環境によっては、クリックのタイミングで画面がチラつく感じが生じます。

[平面入力]

- ・勾配定義 勾配図形の表示（矢印の図形です。）

構造の表示スイッチで、「屋根、床」の表示と連動して、表示・非表示する様になりました。

- ・壁の厚さ変更時、開口図形の厚さも連動

壁の厚さを変更した時、開口の厚さが連動していなかったため、開口の再作図的な処理が必要でしたが、壁の厚さ変更時に開口の厚さを変更する様に修正しました。

[床／屋根入力]

- ・表示スイッチの中に、柱・梁を追加

表示スイッチの中に、梁・柱を追加。構造図更新後、表示のオンオフが可能になりました。

- ・単独パネルの機能を追加

立面図と基本は同じ使い方です。

図面取込・パネル抽出機能も同様です。パネルの取込条件は、水平・垂直のみです。

[注文書 パネル処理]

- ・製品符号の文字位置保持

立面図＞表示スイッチで、製品符号を表示し製品符号を移動した後、パネル処理の画面に入ると、製品符号が元の位置に戻ってしまいましたが、製品符号の文字位置を固定できる様になりました。

- ・パネル処理のコマンド終了後のコマンド繰返しに対応

パネル処理のコマンドは、コマンド終了後、右クリックでコマンド繰返しができませんでした。右クリックでコマンド繰返しができるようになりました。

[数量調書]

- ・数量調書のレイアウト変更

面の表記、※※※面立面割付図を、
※※※面に変更しました。

600未満のパネルの集計項目を
追加しました。

工事番号	20160130				日付	2016/7/15					
工事名称	(仮称)綱島東6丁目計画				ページ	2/3					
部材	部位	タテヨコ	種類	厚	間	面	面積m (全体)	体積m	枚数	内小幅 面積m	小幅 率%
ALC	外壁	タテ	一般	100	4	2面	34.52	3.47	30	2.342	7.1
ALC	外壁	タテ	一般	100	4	X2通り	26.68	2.67	24	10.583	39.7
ALC	外壁	タテ	一般	100	4	Y1通り	21.54	2.16	15	4.199	19.5
ALC	外壁	タテ	一般	100	4	Y3通り	16.64	1.67	12	3.921	23.6
小計							166.42	16.71	149	30.746	18.5
ALC	外壁	タテ	一般	100	5	2面	4.54	0.46	8	1.386	30.6
ALC	外壁	タテ	一般	100	5	3面	1.97	0.20	4	0.714	36.2

[レイアウト出力]

- ・レイアウト出力時の処理改善

レイアウト出力時、従来まで出力のスイッチがなかったので、各面の状態の出力のみでしたが、「図面配置／作図」の印刷スイッチと同じに出力できるようになりました。(V r 7. 1. 9～)

[図面配置／作図]

・印刷スイッチの追加・改善

共通(追加) : パネル>工区/デザイン, 構造・他>USER 画層、BG 画層 を追加

立面 : 開口>開口補強, 構造・他>金物

床・屋根 : 構造図>柱、梁

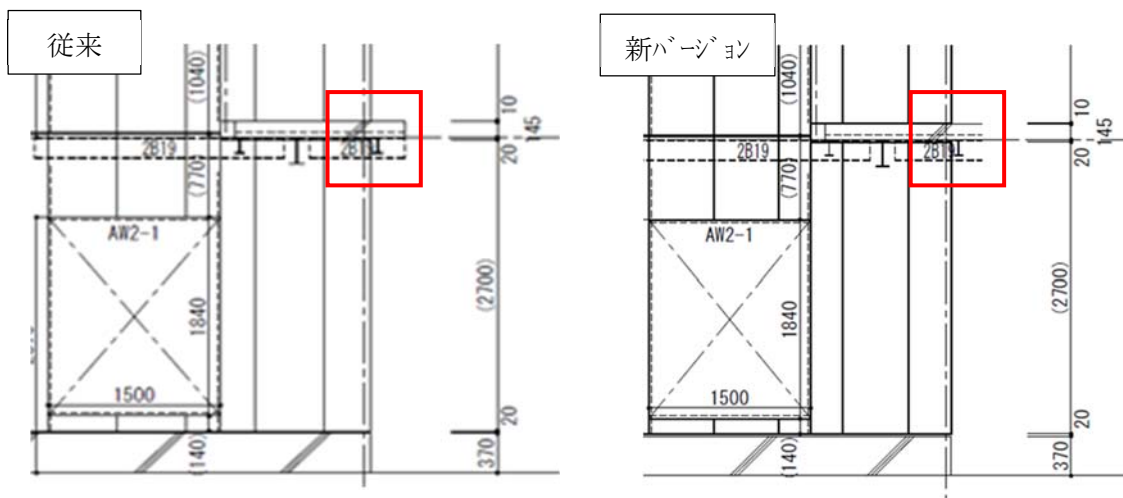
・属性設定 直接入力に対応

属性設定の項目は、属性設定のダイアログボックス内の編集のみでしたが、セル内を直接編集で、修正が可能になりました。図番の条件は、半角数字のみでしたが、半角英数字に対応しました。

・印刷の処理改善

印刷時の処理方法を変更する事で、処理速度が上がりました。

・印刷 構造図形の切断イメージ (64bit 版限定)



立面の構造図の印刷時、構造の作図範囲で表示が切れる切断部分の線は、従来のバージョンでは印刷されていました。新バージョンの印刷では切断部分の線は出力しない様にし、切断のイメージに近づけました。

内部の処理で、切断部分の線の図形の上にワイプアウトの図形を作り印刷時に見えない様になっています。Bricscad V13 では、プログラムでワイプアウトのコマンドの操作ができない為、Bricscad V16 (64bit 版) のみの機能になります。

お問合せ サポートセンター TEL (075) 325-1728

FAX (075) 325-1733

e-mail info@pixelcad.com

ホームページアドレス <http://www.pixelcad.com/>

ユーザー名 (半角英数) user

User's Only パスワード (半角英数) pixel2nd

@Panel の最新バージョンの更新や情報につきましては、随時ホームページにアップいたしますので、ご確認下さい。宜しくお願い致します。